

## 2021年12月度 社員総会 決意表明

私は、TODAY 児童デイサービス白金の吉田亮太と申します。新卒採用で2021年4月より勤務しています。社員としてまだまだ未熟でありながら、このような発表の機会をいただきありがとうございます。

AHCグループに入社しようと決めたいきさつや、入社し半年以上が過ぎた今、改めて感じていることを振り返りながら、これからの私の仕事に向き合う姿勢について、決意表明をさせていただきます。

私は、この児童指導員という職業に就くことができ、とても良かったと思っています。

私の父が中学校の教員で、大好きな数学の楽しさを教えるべく、自分も教員になる勉強をしていましたが、その過程で「介護体験」というカリキュラムがありました。

いま思えば、それが自分の進路を決める上でのターニングポイントだったと思います。

私は、同じマンションに住む障がい者の男性を、小学生の頃からずっと避け続けていました。「話がうまく通じない」「理解のできない行動をしている」など、ちょっとした恐怖心のようなものをずっと感じていたからです。

介護体験で就労支援施設に実習に行くことになった私は、小学生の頃から避けていたその方と実習生と利用者という形で向き合うこととなりました。

間近で接してみると「何がしたいのか分からないのではなく、自分が理解しようとしていなかったのだ」と改めて気づくことになりました。

それからさらに数ヶ月経って、今度は特別支援学校に実習に行くと、子どもたちのほうからとても積極的に話しかけて来てくれて、子どもたちの素直な気持ちを目の当たりにしました。

私は、これらの実習を通して、それまで自分の中にあった“障がい”というものについての認識を180度変えることになり、障がいを持つ子どもたちと過ごし支援をする仕事が見たい！と強く感じ、進路を変えAHCグループに出会うことが出来ました。

現在、私が所属しているTODAY白金は、AHCグループとしては1つしかない中規模の施設で、児童数や職員数がとても多いです。

活動中は、自分が子どもたちに引っかけられたり噛みつかれたりするのは「子どもたちにただ舐められているだけなのかな」と辛くなったり、怪我や嘔吐の対処がわからなかったり、うまく排泄介助ができなかったりしていました。

なので、自分の不安や未熟さを良い方向に転換できず、家に帰って悩む日が続くこともたくさんありました。

そのような状況の中でも、私の知識不足や不安を打ち明けることができる先輩方に恵まれたことで、対処を一緒に考えてくれたり、マニュアルを見せてくれたりして、一人で抱え込まなくてもいいんだと思えるようになりました。

さらに、保護者であるお父様から「吉田先生ですよ。うちの息子が先生のこと好きみた

いで、手遊びとか吉田先生に良くしてもらって嬉しいです。」という言葉が頂くことができた時、今でも忘れることが出来ないぐらい嬉しい気持ちになりました。

今後もお父様に頂いた感謝の言葉を忘れることなく、自分のスキルを高め知識を増やし、子どもたちそれぞれの個性に合わせたより良い療育を行ったり、TODAY 白金に通えてよかったと思って頂けるよう、保護者の皆様に対してのサポートも出来るように頑張りたいです。

最後に、私もいつまでも新人ではなく、人に教えたりする立場に変わっていくと思います。いつも仲間から頼ってもらえるような人間性を身につけたり、みなさんと協力して、どんなことにも真摯に向き合いながら、目の前の仕事に励んでいきたいと心から思っています。

本日は、ご清聴いただきありがとうございました。